

スポーツYAMATO

上原会心の3ラン

初日は1勝1敗 日本リーグ順位決定節



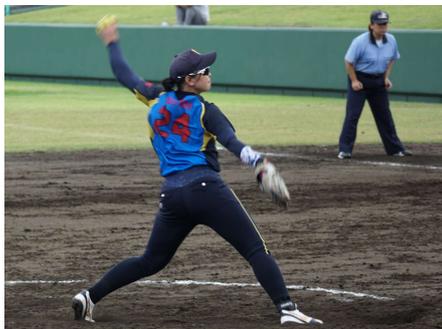
エース斉藤粘投 最終回ギア上げる

日本リーグ順位決定節初日は、第1試合でプラチナセクション1位のVONDSと対戦。惜しくも0-3で敗戦し、大事な初戦を落としてしまった。後がなくなつた2試合目はプラチナセクション2位の厚木SC対戦。1回裏に1点を先制されたが、3回表に1点を返し同点とすると、ランナー2・3塁の場面で3番上原が打席に入った。前の試合チャンスで凡退していた上原だったが、この打席は初球から思い切りよく手を出し、気持ち前面に出していた。フルカウントから狙っていたストリート振りぬくと打った瞬間に入ると分かる特大のスリーランホームランを放ち、一気に試合の流れを呼び込んだ。

エース斉藤粘投

上原の一打で試合の流れは来たが、厚木打線も毎回ヒットで出塁し、再三ピンチを招いた。しかしエース斉藤が粘りのピッチングで得点を与えなかった。最終回、抑えに回つた大串が2点を取られ再びマウンドに上がると、斉藤はギアを上げ、気迫のピッチングで2点のリードを守り切り、6-4で勝利。1勝1敗で初日を終えることが出来た。残る1試合はサファイアセ

クション1位のMORRとの一戦。勝てば優勝決定戦に進める大事な戦い。昨年、全日本実業団選手権大会を制した同じ試合会場で再び歓喜の勝利を



手にすることが出来るか大変楽しみだ。

村井光る好プレー

4回表、貴重なタイムリーヒットと7回裏のピンチをファイブプレーでチームの勝利に貢献した村井。大舞台で存在感を示し、ただ今絶好調だ。

